

令和7年度 沖縄振興会議 議事概要

会議名：沖縄振興会議

日 時：令和8年1月27日（火）13:30-14:00

場 所：沖縄県自治会館

参加者：41 市町村長（名護市は副市長、国頭村は副村長、金武町は課長補佐）

沖縄県：玉城県知事、池田副知事、大城副知事、他 県関係部局長等

1 第1号議案（令和8年度沖縄振興特別推進交付金にかかる沖縄県と市町村間の配分(案)について）

(1) 事務局が、議案について経緯等の説明を行った。

ア 県と市町村間の配分については、令和4年度から令和6年度までは11対9の割合とされていたが、昨年1月28日の沖縄振興会議において、現行の沖縄振興計画期間中（令和13年度まで）は原則として1対1の割合とすることが決定されたところであり、その決定内容について配布資料により説明した。

イ この決定に基づき、令和8年度の県分及び市町村分の配分額については、令和8年度政府予算案 346.6 億円を1対1で配分し、県分 173.3 億円、市町村分 173.3 億円とすることについて、確認をお願いした。

ウ なお、県としては、県分 173.3 億円において、引き続き離島振興等の広域的事業や市町村向けの補助事業を実施する方針であることを補足した。

(2) 出席者から次のような発言があった。

ア 県と市町村間の配分について、1対1になったことは感謝したい。一方で、これまで積上げてきた予算や今後の積み残しの事業など不足する部分があるため、国への要請等をしっかり行ってもらいたい。さらに、物価高騰の影響により事業費の不足も生じている。

イ 提案内容に異論はない。今後について、地理的な側面や様々な点から沖縄の特殊性についてもっと配慮してもらい、予算増額に向けた戦略を練って頂きたい。

(3) 出席者の発言を受けて、事務局が次のように応答した。

ア 令和8年度の要請にあたっては、事前に市町村を対象に意見交換会を実施し、地域の生の声を聴取した。一括交付金予算の増額、公共事業に関する意見、子供の貧困対策、公共交通の整備などの新たな支援策の要望拡充など、

多岐にわたって意見を頂戴しており、今般それを沖縄振興に係る国への要請ということで沖縄県知事から随時、予算の要望などを行った。令和9年度の国庫要請においても、市町村からの意見もしっかりと反映する形で、より沖縄の声を効果的に発信し、予算の獲得に向けて動いていきたい。

- (4) 以上の議案の協議を踏まえて、県と市町村間の配分については、令和7年1月28日の沖縄振興会議の決定に基づき、県分173.3億円、市町村分173.3億円とすることを確認し、配分額を決定した。

令和8年1月27日(火)

〔企画部市町村課〕